



山っ子通信

No.7



〔重点教育目標〕・自分の考えをもち豊かに表現する子の育成
・自他を大切に、行動できる子の育成

〔児童の目標〕チャレンジしよう！ 自分の考えをもとう！ うまく伝えよう！
ねばり強くやりきろう！ 自分も、まわりの人も大切にしよう！

多様性を認める

校長 後木 明生

季節もようやく秋に入り、過ごしやすい日が続いています。夏休みが明けて1ヵ月ほどが経とうとしています。子供たちは元気に登校し、楽しく学習活動に取り組んでいます。これも、ご家庭の皆様が温かく送り出してくださっているからと心得、一人一人と、心を含めて向かい合っていきたいと存じます。5年生の宿泊研修が無事終わり、いよいよ6年生は修学旅行を迎えます。楽しい思い出が残るよう取り組んでまいります。

さて、現代は多様性の時代と言われています。一人一人の個性を大切に、それを伸長することが教育に強く求められています。以前学校便りにも書きましたが、私たち指導者が、子供の「良さを伸ばす」ことの大切さを改めて肝に命じることが大切です。私たち教職員が絶えず多様な考え方を認め、子供たちの心に傷をつけないような指導をしていくことが必要なのです。

ところで、私は色弱をもっています。私の場合、赤と緑の色が見分けづらい性質で、男性の50人に1人はいると言われていました。幸い今はユニバーサルデザインが常識となり、生活する上で支障は殆どありませんが、私の子供の頃は、こうした多様性を認める文化がまだ根付いていませんでした。小学校で毎年行われる色覚検査では、いつも一人会場に残され、担当の先生から「これ何色に見える？」などと安易に聞かれ、嫌な思いをしたものでした。教室では、黒板（実際は緑）の赤色チョークの文字が見えにくく、苦労したことも記憶に残っています。

そうした中、これまで生きてきた中で最大の危機は、大学を出て教員になる時でした。小学校教員を志望していた私は、ある日大学に呼び出され、小学校教諭の受験資格に「色弱でないこと」という項目があることを聞き愕然としました。しかし、教員採用志望提出の時期が迫ってきており、悩んでいる時間はなく、止むなく副免許の中学校を受験しました。何とか合格したのち、数年間中学校で勤務をした上で、希望である小学校へ転勤を果たすことができたのです。

その後小学校教諭となり普通に授業をしてきましたが、図工と社会には苦手意識がありました。図工は色の指導がうまくできず、当時学芸会のバック絵など私の描いた絵は独特な色使いですぐにわかる、と同僚の先生に言われたものでした。また社会では、教科書のグラフの色分けがわからず、うまく資料の説明ができなかったのです。バリアフリーの考え方が世の中に広がり、絵の具の色分けがわかりやすくなったり、グラフも点線や太線などを使うようになったりしたおかげで、今ではそうした悩みは少なくなりました。しかしながら、色弱一つでこうしたハードルがあるのですから、生まれつきハンディをもっていたり、人と違う特長をもっていたりする大変さは、私たちの想像をはるかに超えるものなのではないでしょうか。

30数年前、大学生だった私は教育実習に行き、小学3年生の児童と交流をしました。後先考えず行動するため失敗ばかりで、指導教官からも叱られっぱなしだった私でしたが、その時クラスにいた耳の不自由な子と親しくなり、期間中ずっと話を聞いてきました。その子が、実習が終わる時に「思い出に」と自分の写真を私に差し出してくれ、その後何年間も年賀状を送ってくれていたことを思い出します。

これからの教育は、こうした多様性を受け入れ、個にあわせた環境をつくることが絶対条件となります。明治時代から培った、日本式の一斉指導による教育的効果は、これまでの日本の経済成長を支え、先進国化に大きく寄与してきました。また、日本のこうした指導法は、海外からも高く評価されてきたのも事実でしょう。しかしながら、これからの目指す学校は、これまで以上に一人一人が光り輝き、個性を発揮できる場でないといけないのです。

時代は移り変わり、今小学校教諭の受験資格に「色弱でないこと」という項目はありません。また、チョークの色もかつてよりも見やすくなっています。色覚検査は希望者のみとなり、嫌な思いをすることもなくなりました。時代の進化は、まさに人として生きやすい社会をつくるのだと実感します。不易と流行という言葉が示すように、これまで学校教育で培った価値観をすべて否定するのではなく、良いものは残し、その上で新しい価値観を生み出し認めていくことが肝要だと心から思います。まさにグローバルな視点です。

本校でも、子供たちにとって、人と違うことが当たり前となるような、心から安心して生活できる学校づくりを目指し、教育活動を進めてまいりますので、ぜひともご理解をお願いします。

代表委員会～朝の挨拶～



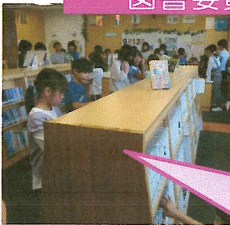
『日本一の挨拶ニ大中山小学校』代表委員会は、2学期がはじまって間もない9月のはじめに、呼びかけを行いました。手作りのプラカードを手にし、校門に立って声をかけると、児童からも挨拶が返ってきます。あいさつは、人と人をつなぐ架け橋にもなります。学校でも、ご家庭でも、地域でも、お互いの気持ちを繋いでいきたいものです。

性の講話会

9月3日に行われました『性の講話会』。中学校に連動する形で、産婦人科の先生を講師にお招きし、5・6年生を対象に、希望する保護者の方にもご参加いただきました。『生まれてきたあなたの物語』としてスタートし、『自分を大切に、他の人も大切に、世界で一つだけのあなたの物語を作って下さい』と締めくくられました。思春期の児童にとって、とても貴重なお話となりました。



図書委員会～菜さがし～



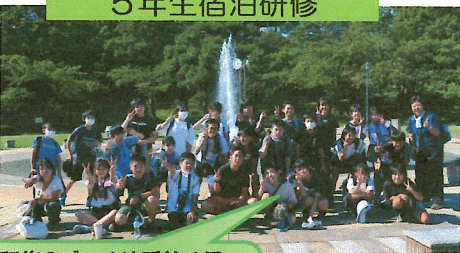
図書委員会の企画として9月17日・19日に行われた『菜さがし』。多くの児童が図書室に集まり、書棚の本の中から、図書委員お手製の茶を探しました。お気に入りのキャラクターを見つけて、笑顔いっぱいのイベントになりました。

レッツ おおなわとび



大中山小体カアッププランの『レッツ・プレイ』。2学期は、おおなわ跳びにチャレンジします。それぞれの学級の状況に応じて、「大なみ」「ハの字跳び」「みんなでジャンプ」等に挑戦します。

5年生宿泊研修



自主研修のゴールは函館公園。計画通りに行けそうか、行かないという判断にするか、グループで相談しながらゴールを目指しました。公園では、お弁当を食べたり動物を見たりして過ごしました。



2日目は、『森のフォトフレーム』作りに挑戦！木の枝や木の実を思い思いに貼り付けて、仕上げていきます。世界に一つだけの自分の作品が完成しました！



夕食・入浴後は、学級対抗のレクで盛り上がりました。

10月 行事予定

日	曜	行事ほか	給食	日	曜	行事ほか	給食
1	火	個人面談・午前授業(給食あり)	○	16	水	全校5時間授業	○
2	水	(PTA) 給食試食会①	○	17	木	食育(5年1・2組)	○
3	木	(PTA) 給食試食会②	○	18	金	全校5時間授業	○
4	金		○	19	土		
5	土	大中山地区文化祭		20	日		
6	日			21	月	委員会活動 1～3年生午前授業	○
7	月	2計測(4～6年) クラブ活動 1～3年生午前授業	○	22	火	高校生インターンシップ	○
8	火	2計測(1～3年)	○	23	水	高校生インターンシップ	○
9	水	6年生5時間授業(修学旅行前日)	○	24	木	高校生インターンシップ	○
10	木	6年生修学旅行	○	25	金		○
11	金	6年生修学旅行	○	26	土		
12	土			27	日		
13	日			28	月	引き渡し訓練	○
14	月			29	火	(PTA) 研修旅行	○
15	火	食育(5年3・4組)	○	30	水		○
				31	木		○

【11月の主な行事】

- 1日(金) チャレンジ校外学習
- 5日(火) 教材費引き落とし(2学期分)
- 6日(水) 全校5時間授業
- 11日(月) クラブ 1～3年午前授業
- 13日(水) 学習発表会1・3・5年
- 15日(金) 学習発表会2・4・6年
- 18日(月) 委員会 1～3年午前授業
- 19日(火) 全校午前授業(3年3組のみ5時間)
- 25日(月) クラブ 1～3年午前授業

学年	今月授業日数	総授業日数	今月給食日数	総給食日数
1年	22	120	22	105
2年	22	120	22	113
3年	22	120	22	113
4年	22	120	22	113
5年	22	120	22	111
6年	22	120	20	111



第20回 七飯町PTA連合会
ミニバレーボール大会

お知らせ

日時: 令和6年11月17日(日)
8:30～
場所: 七飯町ファミリースポーツセンター
参加者: 各学校のPTA会員(原則として)
1チーム8名以内の登録
試合での構成は、男性2名、女性2名
(男性1名、女性3名、女性4名のみも可)

※PTAの開催・安否を回る取組になります。興味のある方は、ご参加下さい。
(27日(金)配付済みの別紙申し込みをご利用下さい)